

牛久：学校周辺に見る自然

第27号

中根小、ひたち野うしく小、他

2010年7月8日発行

＜自然のかくし絵＞

左の写真の木(クヌギ)の幹に、昆虫がかくれんぼしています。どこに隠れているか、分かりますか？ 一頭だけだと思ったら、^{かく} ^{おおまちが} 実は2頭います。

どちらもナナフシの仲間ですが、上の方には緑色の、下の方には茶色のが隠れていました。緑色のは目立つのですぐに見つけたのですが、よく見たら下の方にも幹と似たような色のがいたのです。このように、植物や岩などに姿を似せて鳥などの天敵から身を隠すのを「擬態」と呼んでいます。もしかし



↑緑のナナフシ



↑褐色ののナナフシ

たら緑色のは、緑の葉や枝に紛れていたのが下に降りてきたか、落ちてしまったものかもしれませんね。

右の写真も同様の例。農作物の害虫ヨトウムシ(蛾の幼虫)が、堂々と葉を食べています。でも、うまく隠れたつもりでも見つければ、あっという間に食べられてしまいます



↑フタモンアシナガバチに捕まった幼虫 6/3 中根小



↑ヨトウムシ 6/7稲敷市

↑クヌギの幹に隠れる2頭のナナフシの仲間 2006/7/12つくば市

ガバチに捕まった幼虫。このハチは見かけに似合わず大人しいけれど、他の昆虫の幼虫を捕え肉団子をつくるそうです。

右の写真も同様。シロダモの葉の上に鳥の糞が・・・と思ったら、モンクロシャチホコという蛾の仲間でした。葉の上のブツブツは、昨年度末に中根小4年生と観察した虫こぶで、中にシロダモタバエの幼虫が入っているということでした。覚えていましたか？

鳥の糞に似たモンクロシャチホコ 7/8 中根小 ↑

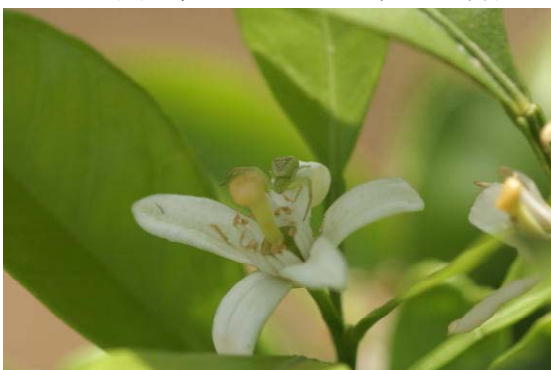


以上の例とは逆に、他の虫を捕まえられるように隠れている者もいます。

左の写真は、ミカンの花に紛れて獲物を待ち伏せするハナグモです。熱帯にはハナビラカマキリなんて、花そっくりのカマキリもいます。図書館などで探してみましよう。

【理科支援員：宮内】

右の写真はおまけで、4/27の中根小4年生の観察でみつかったある動物です。さて、何が隠れているでしょう？



ミカンの花に紛れるハナグモ 6/7 ひたち野うしく小